

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

練習は指定された練習場で係員の指示により行う。(マスターズ大会と同時開催の為、安全に留意する)

- (1) 本競技場での練習は禁止する。
- (2) 補助競技場での練習時間は下記の通りである。
30日(日) 7:30~16:30
- (3) 本競技場・補助競技場での投てき練習は禁止する。
- (4) 事故防止には十分注意すること。

3 招集について

- (1) 各種目におけるスタート地点付近で招集を行う。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、競技順序に記載した通りとする。
- (3) 招集の方法
 - ① 競技者は招集開始時刻に指定の場所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・靴底の厚さ・スパイクピン・商標について点検を受ける。
 - ② 携帯電話等、競技規則TR6に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - ③ 競技者の衣類、物品を含むすべての広告物については『競技会における広告および展示物に関する規程』が厳格に適用される。
 - ④ 代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に出場する競技者は、招集時に申し出ること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場に移動し、担当役員に申し出る。フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前にその旨を申し出ること。
 - ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものとする。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスの配布は、30日(日)、テレサ入場コード確認時に配布する。
- (2) アスリートビブスは主催者が用意したものを、そのままの大きさを胸・背部に固定すること。ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。【競技規則TR5.7】
- (3) トラック競技の競技者は、シールタイプの腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、パンツの右やや後方に取り付ける。

5 競技場内への入退場について

- (1) 競技場内への入場は、フィニッシュゲートからのみとする。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い、フィニッシュゲートから退場する。正面スタンド前の通行は禁止する。

6 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者番号の左に数字で示す。
- (2) トラック競技で予選を行う種目は次のラウンドの組合せ・走路順についてはアスリートランキングに掲載する。
- (3) トラック競技における次ラウンド進出者のプラスの決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、0.001秒で着差判定して進出者を決める。着差がない場合は抽選とする。
- (4) 抽選が必要な場合は、該当競技者へアナウンスにより連絡し、大会本部前において該当競技者あるいは代理人による抽選を行う。なお、アナウンス後20分を経過しても該当競技者あるいは代理人が大会本部に来なかったときは、主催者が代行する。

7 競技について

(1) トラック競技

- ① その競技を行う競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- ② レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- ③ 決勝進出人数についてはプログラム記載の通りとする。
- ④ スタートはイングリッシュコマンドとする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤ 競技規則TR16により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。（小学生80mハードルにおいては、同じ競技者が2回不正スタートをした場合に失格とする。）

(2) フィールド競技

- ① 跳躍、投てき（やり投）競技者は、助走路の外側に主催者が用意したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。サークルを使用する投てき競技者は、サークル直後に主催者が用意したマーカーを1個だけ使用してもよい。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ③ 三段跳びの踏切板の位置については、男子は12mとし、女子は11mとする。
ただし、審判長の判断により変更の場合がある。
- ④ 競技中は競技の進行を妨げるような「助力」を受けてはならない。
- ⑤ 走高跳、棒高跳決勝のバーの上げ方は、審判長の判断により決定する。
- ⑥ 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動の申告を現地の競技役員に行う。

(3) コンバインドA

- ① 80mハードルはハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11mとする。
- ② 走高跳は「はさみ跳び」でマットへの着地は足裏からとする。背・腰からの着地は無効試技とする。同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。なお、男子は100cm、女子は90cmの高さから始め、以後5cm上げとする。
- ③ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。

- (4) ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。

8 競技用具について

競技用具は棒高跳のポール以外、競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき用具については検査の上、私物の使用を許可する。検査後は一括借り上げとし、参加競技者間で共有できるものとする。棒高跳用ポールの検査は競技場所で、投てき用具の検査は、100mスタート側の砂場付近のダッグアウトで行う。検査を受けない器具（不合格も含む）は競技場内に持ち込んではいない。

9 競技用靴について

- (1) 競技場は全天候舗装である。
- (2) スパイクの数は11本以内で、長さ9mmを超えてはならない。また、スパイクの先端の直径は4mm以内とする。【競技規則TR5.3】
- (3) 靴底の最大の厚さは、フィールド種目（三段跳を除く）は20mm以内、三段跳は25mm以内、800m未満のトラック種目は20mm以内、800m以上のトラック種目（競歩競技を除く）は25mm以内、競歩競技は40mm以内とする。【競技規則TR5.13】

※詳細は日本陸連HP参照：<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>

10 表彰について

- (1) 各種目1～3位には賞状を授与する。
- (2) 表彰式は実施しない。（各種目1～3位は大会本部前にて受取る）
- (3) 男女それぞれに最優秀選手賞を設け、副賞を授与する。
アナウンスにより該当競技者へ連絡をし、該当者は大会本部に集合すること。
※受取りのない賞状、副賞は送付しない。

11 新型コロナウイルス対策について

- (1) 競技者およびチーム関係者は、『テラサー体温記録活用アプリ』を利用し、大会1週間前から当日までの体温および体調を報告すること。
- (2) フィニッシュゲート付近に検温所を設置する。入場時に必ず通過し、検温およびテラサー入場コードの提示をすること。体温が37.5℃以上の場合、参加を認めないことがある。
- (3) 来場にあたってはマスクを着用し、ウォーミングアップ中および試合中を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (4) 各所に備え付けのアルコールで下記に従って消毒すること。
【トラック種目】 スタート前およびフィニッシュ後
【投てき種目】 投てき物を持つ前
【跳躍種目】 毎試技前後
このとき以外にもこまめな消毒を心がけること。
- (5) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (6) 飛沫拡散を防ぐため、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (7) 原則として、観客の入場は認めない。
- (8) 接触の機会を減らすため、競技場内更衣室およびシャワールームの使用を禁止する。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、新潟実業団陸上競技連盟事務局（(株)新潟アルビレックスランニングクラブ TEL:025-201-7666）に報告すること。

12 一般連絡・注意事項

- (1) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (2) 正面スタンドとバックスタンドの最前列には、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所においても個人名の表示されたものは一切掲げてはならない。
- (3) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (4) 競技場での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は、各自が責任を持って行うこと。
- (6) スパイクシューズを履いたまま競技場施設（スタンド等）には入らないこと。
- (7) 競技者に対する助力については、競技規則TR6を適応する。
- (8) 遺失物については、本部で保管する。
- (9) プログラムおよび競技結果は、アスリートランキング上に掲載する。
- (10) 記録証明書を希望する競技者は、受付にある「記録証交付願」に必要事項を記入し、200円を添えて申し込むこと。
- (11) プログラム訂正の申し出は、選手受付場所にある訂正用紙に記入し総務に提出すること。